

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
基礎看護学実習Ⅱ	NSP24_002	必修	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
小石川 好美 他	403	yoshimi.koishikawa	月曜日～金曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	受け持ち患者との援助の人間関係を通して健康上の問題を総合的に把握し、看護の立場から問題解決できる基礎的能力を養う。具体的には、病院に入院している患者を受け持ち、①受け持った対象者の看護過程を通し看護実践の思考過程を理解できる。②対象者を生活者にとらえ、基本的欲求を充足するための看護を実践する。③看護実践の全過程において倫理的態度をとることができる。ことを目的として実習を行う。				
学習上の助言	基礎看護学実習Ⅱは、看護援助方法論Ⅲ・Ⅳ・Ⅴの単位取得が履修の要件である。病院実習は病気や障害を持つ人が医療を受けている現場で実施されるものであり、この人々や病院スタッフの厚意と協力を得て成り立っている。そのことを十分自覚し、感謝と敬意の気持ちをもって誠実に実習に取り組んでほしい。				
教科書	看護の基本となるもの IV、ヘンダーソン 著、湯橋ます・小玉香津子 訳 /日本看護協会出版会、2016 看護学生してはいけないケースファイル臨地実習禁忌集改訂2版/大崎千恵子他編著/丸善出版、2024				
参考書	看護援助方法論Ⅰ～Ⅴ、ヘルサアセスメントⅠ、Ⅱの教科書・参考書				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	対象者との援助の人間関係を築くことができる。		NS(1)(2)		
②	受け持った対象者の看護過程を通し、看護実践の思考過程を説明できる。		NS(1)～(5)		
③	対象者の情報を収集・整理し、対象者の基本的欲求の未充足状態を記述できる。		NS(1)(3)		
④	基本的欲求を充足するための看護を計画し、実践できる。		NS(1)(2)(3)		
⑤	実習の全過程において、倫理的態度をとることができる。		NS(1)～(5)		
⑥	実習を通して考えた看護を学ぶ学生としての自己の課題を記述できる。		NS(5)		
授業計画					
1. 実習の時期 2年次後期 1～2月に2週間の実習を行う。					
2. 実習の具体的内容 各自対象者を受け持ち、その対象者に応じた看護過程を展開する。					
3. 実習の展開 *実習期間により学内実習の日程は異なることがある。					
1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	
学内実習 オリエンテーション	病棟実習① 病院・病棟オリエンテーション 看護過程：情報収集 アセスメント	病棟実習② 看護過程：情報収集 アセスメント	病棟実習③ 看護過程： 問題の明確化	学内実習 看護過程： 計画立案	
6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	
病棟実習④ 看護過程： 看護計画実施	病棟実習⑤ 看護過程： 看護計画実施	病棟実習⑥ 看護過程：実施・評価	病棟実習⑦ 看護過程：実施・評価、 まとめ	学内実習 実習まとめ	
4. 学生配置 学生は1グループ4～6人とする。					
5. 最終提出について 各個人で自己評価、まとめのレポート、実習記録を提出する。					
学習課題・学習時間(時間)					
受け持ち患者の情報を収集し、病態生理を十分に理解したうえで実習に臨む。思考の確認は実習記録に反映させること。					
必要時間： 40時間					

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

総合評価割合(%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	15	0	70	15	100
総合力指標	知識・技術力	0	5	0	20	0	25
	思考・推論・創造する力	0	5	0	10	0	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	5	0	5
	発表・表現伝達する力	0	5	0	5	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	10	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	10	15	25
問題を発見・解決する力		0	0	0	10	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点				
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓					
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓					
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤	✓					
	⑥	✓					
その他	①						
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤	✓					
	⑥	✓					
備考							
他担当教員	山崎 さやか、岩淵正博						
教員の実務経験	科目担当教員は、臨床経験40年の臨床経験を有し、臨床実践と学問的な知肢位い、技術を併せて教授する。各担当教員が看護師としての臨床経験をもとに、学生が倫理的な判断をするための基礎的能力を養えるよう実習指導を行う。						
実践的授業の内容	実習病院の看護師と実務経験のある教員の指導のもと、入院している患者さんに対する看護実践を行う。						
その他	今後の状況等社会情勢によってシラバスの変更があり得る。						